

# 夜景シリーズ切手の発行

今年も郵便会社は新たに5つのシリーズ切手を発行するという。ばかばかしいが年間のシリーズ切手を数えてみたら、なんと16シリーズもあります。新シリーズの中に夜景シリーズというものも発行されます。以前から日本切手に夜景切手が多い気がしていたのでシリーズ発行の前に夜景切手を整理、検討しました。

まず、夜景切手の定義が難しいので夜を思わせる切手を集めると約130種が拾えました(アニメ、メルヘン調切手等除外)。その内容を整理すると建造物等のライトアップ、花火、祭、パノラマ、電飾等の順に切手に描かれ、人の手が加わった夜景がほとんどで、演出されてない夜景、自然光だけの夜景を感じさせるものはあまり無いようです。

切手の種類で見ると、夜景が観光誘致で意図されているので、当然のことながらふるさと切手に多く、5%を夜景の切手が占めました。発行別では地方自治法施行60周年の新潟県の5分の3(以降3/5の様に表示)、旅の思い出シリーズ長崎県の4/10、観光スポットが豊富な東京、京都でさえ、4/20、3/10が夜景であり、如何に夜景が観光、地域PRに重視されているかを感じました。さすがに記念切手には少ない



函館港夜景

が夜景の目立つ発行があります。日本開港150周年記念切手です。26種発行されているうち12種が夜景です。函館は5/8、長崎



左 東京タワー 浅草寺 兼六園  
ライトアップ規模 大 中 小



大曲花火



能登キリコ祭り



神戸ナリエ

は4/8と夜景の港と納得。これらの切手と大いに関連するのが水面です。夜景切手の30%近くの切手に光の反射効果を入れた水面が描かれています。特に、パノラマ、ライトアップに多く描かれています。また、夜景切手に占める祭の存在は無視できません。全体で約120種の祭切手のうち36種は夜の情景であり、更にふるさと祭シリーズ53種では21種が祭の夜景でした。



ライトアップと水面  
長崎 眼鏡橋



花火と提燈  
秩父夜祭

夜景切手の中に注意される切手が2種類ありました。その一つは意図された光のない・少ない夜景を描いたもので、雪夜の静けさ、夏の川床での涼しさを感じさせる切手です。二つ目は発する光のない夜景を描いたもので、月夜の静けさ、夜の森の静寂さを感じさせる切手です。この他、有名画家の作品、光る生物などが夜を思わせる切手になっていますが少ない様です。



雪夜の静けさ 川床の涼しさ 月夜を感じる 森にコハクの声  
世界遺産s 旅の風景s 琵琶湖の夜 鳳来寺山の夜

新シリーズに祭り、港パノラマ夜景等、二番、三番煎じで食傷気味の夜景でない新たな切り口の夜景切手を期待するのは無理でしょうか。

例えば、光る生物が描かれた生活情景、夜を描いたすぐれた絵画、夜に演じられている芸能、夜間の交通手段等、新たな切り口での夜景切手を僭越とお叱りを受けるのを覚悟し考えてみました。



ホタル、ウミホタル、クラゲ、キノコ、ヒカリゴケの風景、静かな夜を描いた絵画、薪能、農民歌舞伎、夜間の産業現場、そして月夜の棚田



風景、投光する灯台などを期待するのは？

こんな切手は・・・

(編集子)